

教育講演Ⅰ

※救急科領域講習会

Point-of-Care救急超音波
—コツとピットフォール、そして未来—

9:00～10:00 第1会場(2F 大ホール)

演者：亀田 徹 安曇野赤十字病院救急科、自治医科大学臨床検査医学

座長：国保旭中央病院 救命救急センター 高橋 功

教育講演Ⅱ

自動運転車について考える
—現状と未来—

10:05～11:00 第1会場(2F 大ホール)

演者：小野古志郎 産業技術総合研究所

座長：帝京大学医学部 救急医学講座 坂本 哲也

教育講演Ⅲ

※救急科領域講習会

地下鉄サリン事件から24年、教訓は生かされているか

11:10～12:10 第1会場(2F 大ホール)

演者：奥村 徹 日本中毒学会理事

座長：茨城県西部医療機構 水谷 太郎

教育講演Ⅳ

感性でとらえる自然災害科学実験教室

13:30～14:25 第1会場(2F 大ホール)

演者：納口 恭明 防災科学技術研究所

座長：筑波メディカルセンター病院 河野 元嗣

パネルディスカッション こころとからだの事例検討会

9:00～10:00 第2会場(1F 多目的ホール)

座長：高橋 晶 筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学

PD-1 こころとからだの事例検討会は、結論を出さず、提言をしない
～精神科医と救急隊員を中心とした、出会いと対話の場～

茨城県立中央病院 総合診療科 関 義元

PD-2 身体・精神の垣根を越えろ～県立病院が果たすべき役割～

茨城県立こころの医療センター 福祉連携サービス部 鈴木 寛

PD-3 多職種間の対話から得るもの

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 通信指令課 橋本 明子

看護部会

シンポジウム 語ろう!! 病院前救急看護

9:30～11:00 第6会場 (3F 中ホール300)

座長：石上 耕司 水戸医療センター

小池 伸亨 前橋赤十字病院

NS-1 フライトナースの活動報告と今後の課題

獨協医科大学病院 救命救急センター 横地 瑞

NS-2 当院のドクターカー運用における看護師の役割と今後の課題

筑波メディカルセンター病院 救命救急センター 福井美和子

NS-3 語ろう! 病院前救急看護～病院前救急における看護の拡大～

東海大学医学部附属病院高度救命救急センター 峯山 幸子

NS-4 フライトナースが考えるプレホスピタルで活動する意義

日本医科大学千葉北総病院 救急外来 水野 憲宏

看護部会セミナー 明日から使える看護の知識「フィジカルアセスメント」

11:00～12:00 第6会場 (3F 中ホール300)

演者：櫻本 秀明 茨城キリスト教大学 看護学部 看護学科

座長：帝京平成大学 染谷 泰子

指定演題「Rapid Response System」 RRSの現状と課題

13:30～14:30 第6会場(3F 中ホール300)

座長：直井みつえ 宇都宮済生会病院

大久保雅美 筑波メディカルセンター病院

RRS-1 Rapid Response System活動における現状と課題

総合病院 土浦協同病院 看護部 救急看護認定看護師 井川 洋子

RRS-2 当院におけるRRSの現状と課題

前橋赤十字病院 看護部 滝沢 悟

RRS-3 当院RRSの現状

－多職種連携における看護師の取り組み－

千葉大学医学部附属病院看護部ICU/CCU 救急看護認定看護師 山田 香織

RRS-4 Rapid Response System (RRS) の現状と課題

～導入後、8年経過した大学病院～

北里大学病院 集中治療センター RST・RRT室 集中ケア認定看護師 森安 恵実

RRS-5 当院におけるRRSの現状と課題

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

救急看護認定看護師 救急・集中ケアモデル特定行為修了者 藤田 玲

RRS-6 当院におけるRRS導入と試験運用実施における現状と課題

杏林大学医学部附属病院 高度救命救急センター 救急看護認定看護師 川崎 沙羅

三部会合同

三部会合同シンポジウム 待ったなしの働き方改革

14:30～16:25 第1会場(2F 大ホール)

座長：中野 実 前橋赤十字病院

木澤 晃代 日本大学病院

SY-1 働き方改革と労務管理
(基調講演)

社会保険労務士法人 齊藤・船橋労務相談所 所長 齊藤 敬徳

SY-2 労基対応と働き方改革

聖路加国際病院 救急部・救命救急センター 大谷 典生

SY-3 「待ったなしの働き方改革」

働き方改革を実践してきた看護職の立場から

獨協医科大学埼玉医療センター 看護副部長 浅香えみ子

SY-4 働き方改革に期待される特定行為研修修了者の役割

社会医療法人社団新都市医療研究会[関越]会 関越病院 集中ケア認定看護師、

救急集中ケア分野 特定行為研修修了者 池田 身佳

SY-5 救急隊の働き方改革～地方における取組みと課題

稲敷広域消防本部 新宮 昭司

SY-6 救急隊員の働きかたについての考察

横浜市消防局人事課 鈴木 貴晶

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1 目でみる血管内皮傷害

12:20～13:20 第3会場 (2F 中ホール200)

演者：岡田 英志 岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

座長：筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 井上 貴昭

共催：旭化成ファーマ株式会社

ランチョンセミナー2 なぜICUにおける睡眠の改善は難しいのか

12:20～13:20 第4会場 (2F 中会議室201)

演者：讃井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター・麻酔科・集中治療部

座長：千葉大学医学部附属病院 救急集中治療医学 織田 成人

共催：丸石製薬株式会社

ランチョンセミナー3 「医療訴訟の現状と対策」 ～ 抗血栓治療領域を中心に ～

12:20～13:20 第5会場 (2F 中会議室202)

演者：長谷部圭治 北浜法律事務所 医師・弁護士

座長：筑波メディカルセンター病院 呼吸器外科 酒井 光昭

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー4

12:20～13:20 第6会場 (3F 中ホール300)

【第一部 12:20～12:50】

「Door to Balloon Timeについて」

演者：仁科 秀崇 筑波メディカルセンター病院 循環器内科

座長：筑波メディカルセンター病院 循環器内科 野口 祐一

【第二部 12:50～13:20】

「小児ECMOの搬送集約とQuality improvement」

演者：清水 直樹 東京都立小児総合医療センター 集中治療科

座長：横浜市立大学附属 市民総合医療センター 高度救命救急センター 竹内 一郎

共催：テルモ株式会社

一般演題・ランチョンセミナー

第2会場 (1F 多目的ホール)

10:05～11:01 集中治療1

座長：竹内 一郎 横浜市立大学大学院医学研究科 救急医学

星野 哲也 筑波大学附属病院 救急・集中治療科

D1-1 早期のVA-ECMO導入によって予後良好に救命できた広範型肺血栓塞栓症による来院後心
肺停止の一例

東京ベイ・浦安市川医療センター 小松勇史朗

D1-2 重症MRSA肺炎に対し、VV-ECMOを導入し救命し得た一例

獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科 中村龍太郎

D1-3 長時間の心停止から蘇生し多臓器不全に陥ったが集学的治療により良好な神経学的予後が
えられた一例

川崎市立川崎病院 救命救急センター 藤田野々香

D1-4 原発性アルドステロン症による低K血症で心室細動を来たした一例

日立総合病院 救急集中治療科 本田 幸弥

D1-5 重症ARDSをきたしVAV-ECMOで救命しえた向精神薬・交感神経刺激薬大量服用の1例

聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター 吉田 徹

D1-6 防ぎ得る呼吸不全死・ゼロへの挑戦～当院におけるMobile ECMOの取り組み～

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 乃美 証

D1-7 当施設における敗血症性ショックに対するECMOへの取り組みと工夫 特にVAV ECMO
に関して

北里大学 医学部 救命救急医学 栗原祐太郎

11:05~12:01 集中治療2

座長：中村 謙介 日立総合病院 救命救急センター 救急集中治療科

喜久山和貴 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急部

D2-1 急性腎不全を契機に発症した、メトホルミン関連乳酸アシドーシスにより心肺停止となった一例

横須賀共済病院 救急科 菊池 優志

D2-2 急性膵炎と診断後、発症前に低血糖を認めた劇症1型糖尿病の1例

国際医療福祉大学病院 菱沼加寿子

D2-3 ニューモシスチス肺炎によるARDSに対して腹臥位療法を施行した一例

日立総合病院 救急集中治療科 水野 仁介

D2-4 メトホルミン長期内服例におけるメトホルミン関連乳酸アシドーシスと考えられた一例

東京大学医学部附属病院 救命救急センター・ER・集中治療部 深谷小百合

D2-5 譫妄予測における2-stage calculationの検証

東京医科大学 救急災害医学分野 東 一成

D2-6 ICU入室患者への早期離床リハビリテーションの取り組みに対する評価 一第2報一

(株)日立製作所 日立総合病院 リハビリテーション科 山田 尚子

D2-7 尿中NGALと重症度スコアの関係性の検討

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 救急科/
横浜市立大学救急医学教室 大田 聡一

13:30~14:18 精神科救急

座長：小林憲太郎 国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科

水落 美紀 日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療医学分野

D3-1 過換気症候群による低リン血症に対して血清リン値の推移を観察した2症例

日本大学病院 救急科 水落 美紀

D3-2 ブレクスピプラゾールが被疑薬として疑われる悪性症候群を呈した症例

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 救急科 内山 真

D3-3 3度熱中症との鑑別が困難であった悪性症候群の1例

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター 長村 龍憲

D3-4 診断に苦慮した悪性症候群の一例

慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター 貝發 美香

D3-5 自殺企図患者への多機関連携による支援を行った一例

筑波メディカルセンター病院 医療福祉相談課 中山 寛子

D3-6 救急科領域における精神科リエゾンチーム活動の現状

筑波メディカルセンター病院 診療技術部 石橋 直子

14:25～15:21 高齢者救急

座長：濱野 淳 筑波大学附属病院 総合診療科

石上雄一郎 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科

- D4-1 低血糖による意識障害を契機に特発性下垂体性副腎皮質機能低下症の診断に至った一例
株式会社日立製作所 日立総合病院 救急集中治療科 阿部 涼
- D4-2 高齢者の神経因性膀胱を背景に発症した外傷性膀胱損傷の一例
さいたま赤十字病院 救急科 山本 大輔
- D4-3 救急外来に搬送され緊急入院した90歳以上の超高齢者の転帰に関する検討
国立国際医療研究センター病院救急科 船登 有未
- D4-4 ワルファリンカリウムにて出血傾向をきたし、前胸部巨大皮下血腫をFour-Factor Prothrombin Complex Concentrateで治療した一例
東京臨海病院 救急科 藤井 雄斗
- D4-5 超高齢社会における都市部の救急医療のニーズ、問題点について
済生会横浜市南部病院 救急診療科 豊田 洋
- D4-6 高齢者の大腰筋面積と入院後のADL、介護度との関連
独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 救急科/
横浜市立大学医学部医学科 救急医学教室 三澤 菜穂
- D4-7 咳嗽を契機とした非外傷性腹直筋血腫の2例
川崎市立川崎病院 救命救急センター 藤網隆太郎

15:30～16:18 心血管救急1

座長：吉田 徹 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター

富永 直樹 日本医科大学付属病院 高度救命救急センター

- D5-1 心タンポナーデによる閉塞性ショックから重度の低酸素性肝炎を呈した心筋梗塞後左室自由壁破裂の一例
日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科 藤本 竜平
- D5-2 腹部大動脈瘤 - 下大静脈瘤の1例
東京警察病院 救急科 今村 友典
- D5-3 大動脈解離と心筋梗塞の鑑別におけるD-dimer値の有用性の検討
済生会宇都宮病院 救急科 垣内 大樹
- D5-4 複数科の連携により救命した腹部大動脈瘤破裂の1例
日本医科大学付属病院 高度救急救命センター 原口 尚子
- D5-5 心停止に至った心タンポナーデに対しエコーガイド下心嚢穿刺が有効であったblow out型左室自由壁破裂の一救命例
済生会宇都宮病院 救急科 森泉 友斉
- D5-6 一過性対麻痺を呈した、解離腔が大動脈弓部に限局する急性A型大動脈解離の一例
聖路加国際病院 救急部・救命救急センター 土屋真貴子

座長：長谷川伸之 那須赤十字病院 救命救急センター

齋田 文貴 東京女子医科大学東医療センター 救急医療科 救命救急センター

D6-1 遷延性の意識障害を呈した肺血栓塞栓症の1例

慶應義塾大学 医学部 救急医学 山下幾太郎

D6-2 人工血管の非吻合部破綻により陰嚢内血腫をきたした1例

川崎市立川崎病院 救命救急センター 鳥海 聡

D6-3 単純CTで指摘しえた肺血栓塞栓症の1例

済生会宇都宮病院救急科 桂 美遥

D6-4 出血性ショックを呈した下肢静脈瘤の2症例

昭和大学 医学部 救急・災害医学講座 新井 帝東

D6-5 Fallot四徴症に伴う心室頻拍のため失神を来し受傷した交通外傷患者の1例

日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター 山本 晃之

D6-6 Precordial catch syndromeと考えられた若年男性の胸痛の1例

東京大学医学部附属病院 救命救急センター・ER・集中治療部 植倉 弘智

第3会場 (2F 中ホール200)

座長：本多 英喜 横須賀市立うわまち病院 救急総合診療部 救命救急センター

須崎 真 日本医科大学附属病院 救急・総合診療センター

D7-1 非外傷性の肝出血から出血性ショックを呈した1例

日立総合病院 富沢 夏美

D7-2 慢性膵炎に合併した腹部卒中の1例

日本赤十字社医療センター 救急科 牧 賢郎

D7-3 バルプロ酸ナトリウムに起因する重症急性膵炎の1例

日本医科大学附属病院 高度救命救急センター 前島 璃子

D7-4 急性腹症を呈し、紹介搬送された膵十二指腸動脈瘤破裂の1例

埼玉医科大学 国際医療センター 救命救急科 石上 順平

D7-5 膵頭十二指腸切除後の腸管内出血に対してIVR (Interventional Radiology) コイル塞栓術と内視鏡的消化管止血術を併用した1例

日本大学病院 救急科／

日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療医学分野 倉本 悠里

D7-6 分節性動脈中膜融解 (Segmental Arterial Mediolysis: SAM) による腹腔内出血を来した1例

日本医科大学附属病院 高度救命救急センター 遠山健太郎

D7-7 転移性腫瘍との鑑別に難渋した多発肝膿瘍の1例

北里大学 医学部 救命救急医学 大井真里奈

D7-8 腹膜透析患者に突然の側腹部痛で発症した特発性腎破裂の1例

慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター 救急科 山中 隆広

座長：関根 和彦 東京都済生会中央病院 救急診療科

北野 夕佳 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

D8-1 壊疽性膿皮症治療中に穿孔性腹膜炎を合併した一例

埼玉医科大学 国際医療センター 救命救急科 坂本 真希

D8-2 著明な門脈ガス血症を呈したにも関わらず術後経過良好であった絞扼性イレウスの一救命例

東京女子医科大学 八千代医療センター 救急科・集中治療部 石垣 佳織

D8-3 多系統萎縮症患者に発症した壊死型虚血性大腸炎・敗血症性ショックに対しダメージコントロール手術と集中治療により救命した1例

川口市立医療センター 研修医 森田 俊平

D8-4 ST上昇型心筋梗塞と特発性食道破裂が併発した一例

済生会宇都宮病院 救急科 内田麻矢子

D8-5 大腸がん肝転移術後、肝動注カテーテル挿入術後、門脈由来と考えられた十二指腸潰瘍出血の1例

筑波学園病院 外科 松下 智子

D8-6 保存療法で良好な転帰をとった非肝硬変性門脈大循環短絡による肝性脳症の一治験例

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科 柴崎 貴俊

D8-7 非閉塞性腸管虚血に続発した急性壊死性食道炎の1例

筑波大学附属病院 救急・集中治療部 本木麻衣子

D8-8 吐血ショックを生じた胸部大動脈瘤の圧排による食道潰瘍の一例

東京女子医科大学 東医療センター 救命救急センター 内山まり子

座長：菊池 広子 日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター

若竹 春明 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター

D9-1 胆管癌多臓器転移がありショックバイタルで搬送後に多量胸水貯留で縦隔偏位を来たしていた1例

社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター 落合 彩子

D9-2 意識消失発作で救急搬送され筋強直性ジストロフィーと診断された一例

日本大学病院 救急科 松田 慶士

D9-3 急性呼吸不全を契機に診断した筋萎縮性側索硬化症の一例

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 粕川宗太郎

D9-4 線維筋痛症と思われる疼痛を苦に自殺企図に至った1例

埼玉医科大学総合医療センター 救急科 百瀬ゆずこ

D9-5 進行する腰痛と両下肢麻痺で救急受診した担癌患者の1例

青梅市立総合病院 岩崎 陽平

12:20~13:20 ランチョンセミナー1
目でみる血管内皮傷害

座長：井上 貴昭 筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学

演者：岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター 岡田 英志

共催：旭化成ファーマ株式会社

13:30~14:26 中毒1

座長：明石 暁子 東京都立墨東病院 高度救命救急センター・ER

芝原 司馬 東京女子医科大学 救急医学講座

- D10-1 血液浄化療法施行中の血中濃度測定を行ったジフェンヒドラミン中毒の一例
昭和大学 医学部 救急・災害医学講座 鈴木 恵輔
- D10-2 精神神経症状を目的に過量内服を行ったデキストロメトルフアン中毒の一例
国立国際医療研究センター病院 救命救急センター・救急科 山本 陽介
- D10-3 ツロブテロールテープによる中毒が疑われた1例
昭和大学 医学部 救急・災害医学講座 中村 元保
- D10-4 遅発性に血中濃度が再上昇したフェノバルビタール中毒の1例
東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 佐藤 裕一
- D10-5 カルシウム拮抗薬、アンジオテンシン変換酵素阻害薬中毒の一例
横浜労災病院 救命救急センター 浪方 悠
- D10-6 急性カルバマゼピン中毒に対して血液吸着療法を施行した一例
東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター 笹本 晶子
- D10-7 当院におけるジフェンヒドラミン過量服薬患者についての検討
横須賀共済病院 救急科 新居田翔子

14:30~15:02 中毒2

座長：野村 智久 順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科

小林未央子 東京都立墨東病院 高度救命救急センター

- D11-1 青汁摂取後に徐脈となった1例
横浜市立市民病院 救急診療科／横浜市立大学医学部 救急医学教室 道下 貴弘
- D11-2 正露丸を大量内服し薬局方木クレオソート中毒に至った一例
順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 村田 健介
- D11-3 衣料用漂白剤誤飲により門脈ガスを生じた1例
横須賀共済病院 救急科 坂口 裕介
- D11-4 意図しない過量摂取によりナツメグ中毒をきたした症例
北里大学病院 金 宗巧

15:10~15:58 中毒3

座長：岡本 健 順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科

平林茉莉奈 日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療医学分野

D12-1 そしでまだパラコート：パラコート中毒3例の報告

深谷赤十字病院 救命救急センター 野口 裕司

D12-2 有機リン中毒に類似した症状を呈した2,4-ジクロロフェノキシ酢酸急性中毒の一例

SUBARU健康保険組合 太田記念病院 安岡 堯之

D12-3 トルエン中毒により著明な低カリウム血症を伴った糖尿病性ケトアシドーシスの一例

東海大学 医学部 救命救急科 相原 一樹

D12-4 カフェイン中毒、摂取量60gの一例

国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター 石上 耕司

D12-5 致死性不整脈を合併した急性カフェイン中毒の1例

筑波大学附属病院 救急・集中治療部 折居 大輔

D12-6 一般用医薬品によるカフェイン中毒の2例

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 杉本 貴史

15:58~16:38 病院前1

座長：湯浅 洋司 けいゆう病院 救急科

村田 将人 群馬大学大学院医学系研究科 救急医学

D13-1 こたえは現場にあった!! ワークステーション中の1症例と当院の現状

戸田中央総合病院 救急科 大塩 節幸

D13-2 気管支喘息急性増悪による心肺停止症例と病院前活動の検討

埼玉医科大学 総合医療センター 救急科 (ER) 千田咲智子

D13-3 洋上救急医療によって救命し得た劇症型心筋炎の一例

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 井上 正章

D13-4 多数傷病者搬送の1対応例

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科 福田 有

D13-5 当院におけるInternational repatriation (国際患者搬送帰還) の特徴

東京都済生会中央病院 救命救急センター 入野 志保

座長：高橋 耕平 横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター
大井 康史 横浜市立市民病院 救急診療科

- D14-1 ターニケット使用、「普及」だけでよいのか（第1報）
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター/ショック・外傷センター 益子 一樹
- D14-2 院内防災教育における減災カレンダーの使用経験
東京都保健医療公社 豊島病院 野田 彰浩
- D14-3 多数傷病者救出現場トリアージ情報を遠隔医療機関において把握する：QRコードを用いた簡易的システムの実動訓練における試用報告
東京女子体育大学 運動医学 山田浩二郎
- D14-4 当院における災害時の情報共有ツールの使用状況と今後の課題
千葉大学大学院 医学研究院 救急集中治療医学 立石 順久
- D14-5 PEMEC（病院前内科救急救護）の開催を振り返って
昭和大学江東豊洲病院 脳血管センター、脳神経外科 池田 尚人
- D14-6 群馬県内の救急医療施設の受講生数から見たICLSの普及状況について
群馬県ICLSアソシエイト/
前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科・救急科 宮崎 大

第4会場（2F 中会議室201）

9:00~9:48 呼吸器救急

座長：山口 順子 日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療医学分野
山本真貴子 国立国際医療研究センター病院 救急科

- D15-1 経カテーテル的動脈塞栓術により治療した特発性血気胸の1例
公立昭和病院 救急科 高木 淑恵
- D15-2 鍼施術後に両側性気胸をきたした1例
自治医科大学附属さいたま医療センター 進藤 博俊
- D15-3 急性喉頭蓋炎として発症したLudwig's angina、降下性縦隔炎の1例
日立総合病院 救急総合診療科 岸野 祐也
- D15-4 特発性致死性不整脈による心肺停止に対してアミオダロン使用後に間質性肺炎を発症した1症例
公立昭和病院 救急科 長谷川綾香
- D15-5 積極的な気道クリアランスが奏功した過粘稠性Klebsiella pneumoniaeによる難治性肺炎の1例
国立病院機構 東京医療センター 救急科 山本 太平
- D15-6 当院で経験した意識障害を主訴に来院しレジオネラ肺炎と診断された3例
松戸市立総合医療センター 救急科 酒井 希望

9:55~10:35 その他の救急

座長：本間 洋輔 東京ベイ浦安市川医療センター 救急集中治療科

河野 裕嗣 横浜市立みなと赤十字病院 救急救命センター

D16-1 心肺停止症例における初期波形と死後CTの関係について

JAとりで総合医療センター 初期研修医 島野 薫

D16-2 救急外来のCT画像検査で偶然発見された所見の疫学的検討と未読レポート確認システムの効果の検討

横浜市立大学大学院 医学研究科 救急医学 酒井 和也

D16-3 民間企業による Autopsy imagingを用いた死因究明の試み

関東労災病院 救急総合診療科 早野 大輔

D16-4 診療放射線技師教育用救急画像検査ツールの開発と評価

国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部 小柳 恵輔

D16-5 甲状腺中毒性周期性四肢麻痺の3例

済生会宇都宮病院 救急科 藤井 公一

10:35~11:39 研究熱傷その他

座長：土谷 飛鳥 水戸医療センター 救命救急センター

太田黒崇伸 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター

D17-1 単施設における心肺停止例の診療体制による予後への影響の検討

JAとりで総合医療センター 初期研修医 吉田 響子

D17-2 大量出血を伴う外傷患者における心拍数の検討

山梨県立中央病院 救急科 宮崎 善史

D17-3 重度外傷に対する大動脈遮断の意義

東京都済生会中央病院 救命救急センター 入野 志保

D17-4 スプレー缶爆発により全身熱傷を受傷した一例

済生会宇都宮病院 救急科 村田 康彰

D17-5 電撃傷で全層植皮術を要した一例

松戸市立総合医療センター 救急科 坂田 裕香

D17-6 有機溶剤による汚染を伴う高リスク受傷機転の1例

東京ベイ浦安市川医療センター 吉田龍太郎

D17-7 我が国の救急外来トリアージに quick SOFA scoreは有用か？

東京大学医学部 救急科学教室／長崎みなとメディカルセンター 救急科 吉本 広平

D17-8 当院救急・総合診療センターに救急搬送されたためまい症例の検討

日本医科大学付属病院 救急・総合診療センター 須崎 真

12:20~13:20 ランチョンセミナー2

なぜICUにおける睡眠の改善は難しいのか

座長：織田 成人 千葉大学医学部附属病院 救急集中治療医学

演者：自治医科大学附属さいたま医療センター・麻酔科・集中治療部 讚井 将満

共催：丸石製薬株式会社

13:30~14:34 小児外傷

座長：六車 崇 横浜市立大学医学部 救急医学教室

榎本 有希 筑波大学附属病院 救急・集中治療部

D18-1 小児重症外傷における年齢層別の特徴

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター／

横浜市立大学医学部 救急医学教室 問田 千晶

D18-2 鈍的肝損傷に対して経カテーテル的動脈塞栓術（TAE）を施行した小児の二例

横浜市立大学 医学部 附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 渡邊 活

D18-3 小児のびまん性軸索損傷の一例

国立病院機構 横浜医療センター 救命救急センター／

横浜市立大学医学部 救急医学教室 松村 怜生

D18-4 器械体操で発症した外傷性腸腰筋血腫の一例

埼玉医科大学 国際医療センター 救命救急科 足立 智子

D18-5 当センターにおける小児重症頭部外傷のまとめ

埼玉医科大学総合医療センター 小児救命救急センター 宮本 和

D18-6 東京都心部における小児外傷症例の傾向について

東京慈恵会医科大学附属病院 救急部 渡邊 佳奈

D18-7 乳児重症頭部外傷における重症外傷センターを軸とした多施設連携

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター／

横浜市立大学 医学部 救急医学教室 嶽間澤昌泰

D18-8 近年の幼児虐待の実態と当院におけるCAP委員会の取り組み

東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター 出口 善純

14:34~15:30 体幹部外傷

座長：村田 希吉 松戸市立総合医療センター 救命救急センター

青木 誠 群馬大学大学院医学系研究科 救急医学

D19-1 多発肋骨骨折に対して下顎用ロッキングプレートを用いた肋骨後方固定術の経験

千葉県救急医療センター 外傷治療科 潮 真也

D19-2 Transcatheter Arterial Embolizationでは止血を得られず開胸を必要とした外傷性大量血胸の一例

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科 大竹 成明

D19-3 経カテーテル動脈塞栓術後に胆汁性腹膜炎を合併し、ドレナージに続く肝切除を行った肝損傷の1例

自治医科大学 医学部 救急科／自治医医科大学附属病院救命救急センター 田中 保平

D19-4 墜落外傷後に遅発性S状結腸穿孔を来した一例

川崎市立川崎病院 救急救命センター 佐々木洋介

D19-5 オートバイ事故による外傷性気管支損傷の1例

筑波メディカルセンター病院 救急診療科 田中由基子

D19-6 肋骨骨折観血的整復固定術を施行した外傷性血気胸の一症例

平塚市民病院 救急外科 鈴木 将平

D19-7 Microdrainageが著効した胸部外傷後大量皮下気腫の一例

済生会宇都宮病院 救急科 内田麻矢子

15:35～16:39 脳外整形外傷

座長：直江 康孝 川口市立医療センター 救命救急センター

上田太一郎 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター

- D20-1 気管切開の同意を得られなかった四肢完全麻痺を伴う高位頸髄損傷の一例
東海大学 救命救急医学 若井慎二郎
- D20-2 頭部外傷に起因した硬膜動静脈瘻の1例
慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター 間崎 光
- D20-3 観血的整復術にて上腕動脈再灌流が達成できなかった小児上腕骨顆上骨折の一例
慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター 島谷 直孝
- D20-4 転落に伴う臀部の骨盤開放骨折に対し、人工肛門造設術した1例
松戸市立総合医療センター 川端 賢一
- D20-5 外傷性髄液鼻漏後、遅発性に細菌性髄膜炎を発症した1例
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救急部 副島 正哉
- D20-6 外傷性膝窩動脈損傷の1例
千葉北総病院 救命救急科 黒田 紘典
- D20-7 1本の骨折線により異なる2部位に急性硬膜外血腫をきたした頭部外傷の一例
慶應義塾大学卒後臨床研修センター 伊藤 守
- D20-8 外傷を契機に発見された橋中心性崩壊症候群の1例
東京女子医科大学東医療センター救命救急センター 松尾 俊哉

16:39～17:27 その他の外傷

座長：竹本 正明 新百合ヶ丘総合病院 救急科

豊崎 光信 慶應義塾大学 医学部 救急医学

- D21-1 ウルトラライトプレーン墜落によるCPAの1例
水戸済生会総合病院 救命救急センター 田淵 大貴
- D21-2 高度の陰囊損傷を伴ったバイク事故による外傷の一例
東京ベイ浦安市川医療センター 救急集中治療科 寺島 侑希
- D21-3 背部刺創と誤認された重症墜落外傷の1例
慶應義塾大学 医学部 救急医学 松村 一希
- D21-4 咽頭後間隙血腫に対して経皮的カテーテル塞栓を用いた一例
東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 諸橋 優祐
- D21-5 割り箸による排便行為で直腸損傷を生じた一例
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救急部 北村 拓也
- D21-6 飲酒後意識障害として搬送された患者が圧挫症候群であった一例
獨協医科大学 埼玉医療センター 救急医療科 救命救急センター 濱野 愛

第5会場 (2F 中会議室202)

9:00~10:04 ショック

座長：貞広 智仁 東京女子医科大学八千代医療センター 救急科・集中治療部

矢崎めぐみ 東千葉メディカルセンター 救急科・集中治療部

D22-1 来院後まもなく心肺停止となった粘液水腫性昏睡の1例

埼玉医科大学 総合医療センター 救急科 橋本 昌幸

D22-2 TAE後も別血管からの出血を繰り返した後腹膜筋肉内血腫の1例

横浜市立みなと赤十字病院 救急科 河野 裕嗣

D22-3 痙攣を主訴に来院したアナフィラキシーショックの1例

慶應義塾大学 医学部 救急医学 佐藤美智枝

D22-4 アドレナリン自己注射薬が有効だった成人アナフィラキシーの2例

東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター 横山 智穂

D22-5 食物依存性運動誘発アナフィラキシーの1例

帝京大学 医学部 救急医学講座 朝長 鮎美

D22-6 点眼薬でアナフィラキシーを認めた1例

東海大学医学部外科学系救命救急医学 西野 智哉

D22-7 造影MRI検査4日後に発症した多形紅斑の1例

横浜労災病院 救命救急センター 水野 廉

D22-8 アナフィラキシー様症状を呈し、皮膚生検にて診断し得た成人肥満細胞症の1例

国立病院機構 東京医療センター 救急科 鈴木 亮

10:10~10:58 感染症1

座長：小松 孝行 順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科

堤 健 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター

D23-1 コクサッキーウイルス感染を契機に発症した劇症1型糖尿病の1例

杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター 刑部 洸

D23-2 アフリカ帰国後に発症した重症熱帯熱マラリアの1例

東京都保健医療公社 荏原病院 感染症内科 武居 慎吾

D23-3 鳥型インフルエンザウイルスのヒトへの適応性獲得に関する最近の動向

東海大学 医学部 外科学系 救命救急医学 中島 功

D23-4 Actinobaculum schaaliiによる腎盂腎炎・敗血症の1例

日立総合病院 救命救急センター 救急集中治療科 島田 敦

D23-5 二次性血球貪食症候群が疑われた敗血症性ショックの1治験例

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 渡邊 愛乃

D23-6 右下肢壊死性筋膜炎による敗血症性ショック回復後サイトメガロウイルス腸炎を来した1例
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター

救急科・集中治療部 矢崎めぐみ

11:05~12:01 感染症2

座長：佐々木 亮 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 (NCGM) 救急科
小口 萌 東京女子医科大学八千代医療センター 救急科・集中治療部

- D24-1 高気圧酸素療法を併用した頸部ガス壊疽の1例
昭和大学 救急・災害医学講座 柿 佑樹
- D24-2 臀部筋肉注射によって壊死性筋膜炎に陥った一例
杏林大学医学部附属病院 高度救命救急センター 堀野 雅祥
- D24-3 多発性膿瘍を併発した化膿性胸鎖関節炎の一例
筑波大学 附属病院 救急・集中治療部 高瀬 士龍
- D24-4 外傷性腎損傷に合併した気腫性腎盂腎炎の治療に難渋した1例
東京女子医科大学 救急医学講座 小坂 眞司
- D24-5 髄膜炎との鑑別を要した感染性心内膜炎の1例
東京大学医学部附属病院 救命救急センター・ER・集中治療部 橋田 典子
- D24-6 診断に難渋した急性HIV感染症の一例
東京女子医科大学病院 救命救急センター 加藤 秋太
- D24-7 ガス壊疽の一例
川崎市立川崎病院 救急科 井上 聡

12:20~13:20 ランチョンセミナー3

「医療訴訟の現状と対策」 ~ 抗血栓治療領域を中心に ~

座長：酒井 光昭 筑波メディカルセンター病院 呼吸器外科
演者：北浜法律事務所 医師・弁護士 長谷部圭治
共催：第一三共株式会社

13:30~14:26 環境要因による救急

- 座長：若井慎二郎 東海大学医学部 外科学系 救命救急医学
太田 慧 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
- D25-1 重症熱中症に対し血管内冷却システムを用い、速やかな冷却が得られた一救命例
済生会 宇都宮病院救急科 青木 輝
- D25-2 3度熱中症に急性肝不全を合併した一例
昭和大学病院 救急・災害医学講座 井上 元
- D25-3 重症熱中症におけるTATの意義
帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センター 加納 聖夜
- D25-4 スクーバダイビングで急性呼吸不全をきたした一例
東海大学 医学部 外科系救命救急医学 武田 道寛
- D25-5 輸液管理に難渋した大量の水様便を伴うサウナによる3度熱中症の1例
防衛医科大学校病院 救急部 東山 大士
- D25-6 東京都内の高齢者の熱中症の発症状況について
帝京大学 医学部 救急医学講座 神田 潤
- D25-7 夏季に偶発性低体温症による徐脈性低血圧を呈した一例
東京女子医科大学 目黒 直仁

14:30~15:18 気道緊急

座長：片岡 祐一 北里大学医学部 救命救急医学

吉田 稔 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター

D26-1 緊急気管挿管における抜管後上気道症状のリスク因子の検討

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター／

横浜市立大学医学部 救急医学教室 篠原 真史

D26-2 殺虫用燻煙剤による両側声帯麻痺の一例

横浜南共済病院 救急科 大矢あいみ

D26-3 心不全の診断で2日間の挿管後、上気道狭窄となり、声帯潰瘍・運動制限に至った1例

株式会社日立製作所 日立総合病院 救急集中治療科 江平 桃子

D26-4 咯血で搬送された肺空洞病変を有する喉頭腫瘍の1例

茨城県西部メディカルセンター 救急科／

筑波大学附属病院 救急集中治療科 本木麻衣子

D26-5 異物による上気道閉塞の解除後に生じた遅発性上気道狭窄

自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科 大石 高稔

D26-6 気管切開チューブが皮下迷入し顔面部の皮下気腫をきたした1例

東京医科大学 救急・災害医学 本橋 直樹

15:25~16:13 婦人科周産期救急

座長：長田 佳世 つくばセントラル病院 産婦人科

稲葉 健介 水戸済生会病院 救急科

D27-1 外傷を契機に破裂した卵巣子宮内膜症性嚢腫の1例

東海大学 救命救急科 義澤 航平

D27-2 術前診断が困難であった卵管留膿腫破裂の一例

東京慈恵会医科大学 救急医学講座 芹沢 直輝

D27-3 妊娠16週で子宮後屈により腎盂腎炎に至った1例

東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター 濱崎樹里亜

D27-4 帝王切開後の肺水腫による急性呼吸不全を呈した周産期心筋症の1例

日本医科大学付属病院 救命救急科 高橋 瑞穂

D27-5 巨大卵巣嚢腫術後出血に対しIABOを速やかに挿入し再手術に導入し得た1例

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 毛利 晃大

D27-6 スムーズな連携により救命し得た帝王切開後肺塞栓症による心停止患者の1例

労働者健康福祉機構 横浜労災病院 救命救急センター 植地 貴弘

座長：卯津羅雅彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター

金谷 貴大 日本医科大学付属病院 高度救命救急センター

D28-1 抗血小板薬服用中に横断性感覚障害を主訴に来院した脊髄梗塞の一例

済生会横浜市南部病院 初期研修医 西澤 芙美香

D28-2 大動脈解離との鑑別を要した脊髄硬膜外血腫の1例

済生会宇都宮病院 救急科 小川 織以

D28-3 くも膜下出血を契機に脳動脈瘤と内頸動脈解離を診断した一例

日本医科大学 付属病院 高度救命救急センター 佐々木和馬

D28-4 頭部外傷後、外傷性てんかんによる脳症を呈した1例

東海大学医学部付属病院 救命救急科 坪内 陽平

D28-5 高血圧緊急症に対して降圧後に脳出血が顕在化したと考えられた1例

自治医科大学付属病院 救命救急センター 古橋 柚莉

D28-6 両下肢麻痺にて脊髄硬膜外血腫の診断に至った一例

平塚市民病院 救急科 矢野 瑞貴

D28-7 抗凝固療法中に救急搬送された出血を伴う症例の解析。

水戸済生会総合病院 救急科 辻 剛史

D28-8 難治性てんかんをきたし集中治療管理を要した様々な世代の3症例の総合的検討

東京慈恵会医科大学 附属柏病院 救命センター 救急医学講座 佐藤 浩之

看護部会

第6会場 (3F 中ホール300)

12:20～13:20 ランチョンセミナー4

【第一部 12:20～12:50】

座長：野口 祐一 筑波メディカルセンター病院 循環器内科

Door to Balloon Timeについて

演者：筑波メディカルセンター病院 循環器内科 仁科 秀崇

【第二部 12:50～13:20】

座長：竹内 一郎 横浜市立大学附属 市民総合医療センター 高度救命救急センター

小児ECMOの搬送集約とQuality improvement

演者：東京都立小児総合医療センター 集中治療科 清水 直樹

共催：テルモ株式会社

14:35～15:15 教育

座長：倉持 洋志 松戸市立総合医療センター

加藤 美樹 茨城県立中央病院

N1-1 急性深在性腹痛のトリアージ教育

東京都保健医療公社 多摩南部地域病院 中澤 亜紀

N1-2 2時間で行う効果的な蘇生トレーニングの検討－3種類の研修方法を実施して－

社会医療法人社団 新都市医療研究会[関越]会 関越病院 前田 満

N1-3 ICLSコース受講者が経験した院内急変対応の実態調査

総合病院 土浦協同病院 看護部 米嶋 美晴

N1-4 大学病院3次救命救急センターに勤務する看護師の自己評価による外傷初期看護の現状

群馬大学 医学部附属病院 北病棟2階 中本真由美

N1-5 MET要請に繋げる病棟看護師へのRRS教育

株式会社日立製作所日立総合病院 救命救急センター 國井 五月

第7会場 (3F 小会議室303)

9:00~9:56 看護ケア

座長：多田 昌代 小田原市立病院
谷津 千春 館林厚生病院

- N2-1 多発褥瘡患者のケアから見えた看護師の心理的变化
~これからもやりがいのある看護を続けるため~
聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター 中本 亜矢
- N2-2 クリティカル領域における終末期ケア
東京医科歯科大学医学部附属病院 看護科 ER-HCU病棟 久保 知世
- N2-3 3次救命救急センター看護師が自殺企図患者の対応から受けるストレス
自治医科大学附属病院 看護部 救命救急センター 齋藤 志保
- N2-4 手術後ICUへ入室した患者の家族が面会するまでの待ち時間減少に向けた取り組み
筑波メディカルセンター病院 ICU 市川 梨奈
- N2-5 病院で誕生日を迎えるということ~看護師の価値観の違いから考える~
東京医科歯科大学 医学部附属病院 看護部 ER-HCU 木村華瑠佳
- N2-6 3次救命救急センターにおける損傷が激しい外傷患者への看取りのケアに対する看護師の
思い
自治医科大学附属病院 看護部 救命救急センター 佐藤 美幸
- N2-7 一般病棟における脳神経疾患患者へ「“起きる”ケアプログラム」の導入~背面開放座位の
実践と推進への取り組み~第一報
順天堂大学医学部附属練馬病院 佐藤理栄子

10:00~10:56 災害看護・その他

座長：佐伯 悦彦 東京医科大学病院
田中 愛美 水戸医療センター

- N3-1 ハイブリッドER新規設置に伴い作成したアクションカードの検討
済生会横浜市東部病院 救命救急センター外来 飯塚 直子
- N3-2 A病院におけるアクションカード導入後の評価
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 救命救急センター 高橋 翔
- N3-3 ICUにおける災害時アクションカードの導入と検討
筑波メディカルセンター病院 ICU 松崎八千代
- N3-4 災害時の夜間・休日対応可能な本部立ち上げツールの作成
小田原市立病院 看護部 救命救急センター 村山ゆかり
- N3-5 病院救急車を活用した地域包括ケアシステムの確立
医療法人社団永生会 南多摩病院 金子翔太郎
- N3-6 院内急変対応システム向上への取り組み—RRS導入に向けた現状と課題—
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 地域救命救急センター ER 小暮 佳奈
- N3-7 救急領域に勤務する職員のメディカルラリーから得られた経験知について
筑波メディカルセンター病院 看護部 掛札亜沙美

座長：谷島 雅子 自治医科大学附属病院

大塚 文昭 筑波メディカルセンター病院

N4-1 人工呼吸管理中の鎮静に対する鎮痛の影響

鹿児島市立病院 黒木 庄

N4-2 体外式膜型人工肺（ECMO）を装着した神経性やせ症患者的生理的欲求の充足に向けたアプローチ

北里大学病院 救命救急・災害医療センター救急ICU 福嶋 沙織

N4-3 体外式膜型人工肺を装着した神経性やせ症患者に対する摂食嚥下障害看護

北里大学病院 救命救急・災害医療センター救急ICU 石倉 愛

N4-4 慢性心不全の急性増悪期にある患者のQOL向上に努めた一症例ICU環境における療養支援

筑波メディカルセンター病院 救命救急センター ICU 山内 美咲

N4-5 ICUにおいて身体拘束を実施せず経過できた1症例

筑波メディカルセンター病院 救命救急センター ICU 鴻巣 有加

座長：山下 直美 東京医科歯科大学附属病院

赤池麻奈美 東京女子医科大学東医療センター

N5-1 熱傷患者の経口摂取量増加に向けた援助を通して考察した多職種連携における看護師の役割

藤田医科大学病院 近藤 剛史

N5-2 ICU患者の早期離床リハビリテーションプロトコル導入の取り組みとその効果

株式会社日立製作所 日立総合病院 看護局 吉田由紀子

N5-3 医療チームの情報共有により診断を得た重症頭部外傷後paroxysmal sympathetic hyperactivity (PSH)の一症例

小田原市立病院 看護部 救命救急センター 白石 尚子

N5-4 救急医療領域における終末期医療を考えた一事例について

東京女子医科大学東医療センター 看護部 救命ICU 斉藤 静香

N5-5 緊急入院した脳卒中患者のコミュニケーション確立への介入方法

大森赤十字病院 後藤 陽子

座長：平山 幸枝 帝京大学医学部附属病院

神山由美子 川崎市立井田病院

N6-1 A病院の救急外来受診後、帰宅となった高齢者の栄養状態調査

筑波メディカルセンター病院 救命救急センター 高木 有希

N6-2 心室頻拍（VT）を呈していた独歩患者の院内トリアージ経験

小田原市立病院 看護部 救命救急センター 鈴木 好

N6-3 救急外来データ管理システム導入後の現状と課題

株式会社 日立製作所 日立総合病院 救命救急センター 山下 伸江

N6-4 救急外来に常駐する救急救命士の有用性

順天堂大学 医学部附属浦安病院 救急診療科 応答事務 宇佐美 諒

N6-5 院内再トリアージ未実施の要因と今後の課題

JAとりで総合医療センター 看護部 救急外来 上野加寿子